平成３０年度　埼玉県学校総合体育大会（バドミントン競技）
兼関東高等学校バドミントン選手権大会　埼玉県西部支部予選会　実施要項

１．主催　埼玉県高等学校体育連盟西部支部
２．主管　埼玉県高等学校体育連盟西部支部バドミントン専門部
３．期日　平成３０年４月１３日、１６日
　　４月１３日　準備終了後　開会式９時（予定）
　　４月１６日　競技開始９時００分
４．会場　所沢市民体育館（℡　０４－２９９１－１１８１）
５．種目　団体戦（男女　各学校対抗）
６．競技規則　⑴ 平成３０年度公益財団法人日本バドミントン協会競技規則・同大会運営規程・公認審判員規程による。
⑵ 平成３０年度公益財団法人日本バドミントン協会検定・審査合格用器具および第一種検定及び第２種検定合格水鳥球を使用する。（使用シャトルは各校持ち寄りとする。）
７．競技方法　⑴トーナメント戦方式とする。
⑵ 複２組・単１名で行ない、試合順序は複１・単１・複２で実施する。なお、単は複と兼ねることはできない。
⑶ １対抗戦は、２マッチ先取とする。
⑷ 監督・コーチ・マネージャー・選手変更は、大会初日開会式前までとし、大会本部に所定の変更届け出用紙で提出をする事、それ以後の変更はいかなる場合も認めない。
８．参加資格　⑴ 選手は、学校教育法第１条に規定する高等学校に在籍する生徒であること。
⑵ 学校教育法第１条に規定する高等学校卒業を目的として入学している生徒であること。
⑶ 在籍校が埼玉県高等学校体育連盟に加盟していること。
⑷ 選手は埼玉県高等学校体育連盟加盟校の生徒であること。
⑸ 監督・コーチ・マネージャー・選手は（公財）日本バドミントン協会に平成３０年度会員登録完了済みのものとする。
⑹ 年齢は平成１０年４月２日以降に生まれたもので、１９歳未満のものとする。
ただし、出場は同一競技３回までとし、同一学年での出場は一回限りとする。
⑺ チームの編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。ただし、全日制・定時制Ｉ部の混成チームとして認められた競技はこの限りではない。
⑻ 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
⑼ 転校後６ケ月未満のものは参加を認めない（外国人留学生もこれに準ずる）。ただし、一家転住等やむを得ない場合は、埼玉県高等学校体育連盟会長の許可があればその限りではない。
⑽ 短期留学は除く。
⑾ 選手は、予め健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。
⑿ 参加資格の特例
ア．上記⑴に定める生徒以外で、⑵～⑾当該競技要項により本大会参加資格を満たすと判断され、埼玉県高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
イ．上記⑹のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技３回限りとする。尚、上記⑿アの別途定める規定については、全国高等学校総合体育大会開催基準要項の大会参加資格の別途定める規定に準ずる。

【大会参加資格の別途に定める規定】
１．学校教育法第７２条、１１５条、１２４条及び１３４条の学校に在籍し、都道府県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
２．以下の条件を具備すること。
⑴大会参加資格を認める条件
ア、全国高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
イ、参加を希望する専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学

校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。

ウ、各学校にあっては、都道府県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、全国大会への出場条件が満たされていること。

エ、各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失していず、運営が適切であること。

⑵大会参加に際し守るべき条件

ア、全国高等学校総合体育大会開催基準要項を遵守し、競技種目大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。

イ、大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。

ウ、大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

9．参加制限　⑴ チーム編成は、１校１チームとし、監督１名・コーチ１名・マネージャー１名・選手５名以上７名以内（同一校選手）とする。また、５名を欠いた場合は、チームとして認めない。原則として同一校で男女出場する場合はそれぞれに別の監督を置くこと。マネージャーは当該校の教職員または生徒とする。

⑵ 外国人留学生の参加について、申し込みは２名以内とし、１対抗戦の出場は、その出場人数（１名又は２名）に関わらず、１試合とする。

⑶ 引率・監督

ア．出場チームの選手は必ず引率責任者によって引率される。引率責任者は選手のすべての行動に対し、責任を負うものとする。

イ．引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。

ウ．監督、コーチ等は、校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は障害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。ただし、各都県における規定が定められ、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であればその規定に従うことを原則とする。

10．参加申込　所定の大会参加申込書記入・捺印の上、
平成３０年４月６日（金）川越西高校で行われる西部地区組代表者会議に持参すること。
（今回は、コンピュータ用データファイルは不要です）
不参加の学校は、電話・ＦＡＸで、川越西高校　坂井までご連絡ください。

※個人情報の取り扱いに関して

大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。

11．表彰　１～３位入賞校に賞状を授与する。

12．組み合わせ　⑴ 平成３０年４月６日（金）１４時～川越西高校で行なわれる参加校（出場校）顧問による組み合わせ抽選会において行なう。

⑵ 組み合わせ会不参加校は、地区常任委員の責任において行なう。

13．試合進行等　⑴ ①第１ゲームと２ゲームの間、第２ゲームと第３ゲームの間に１２０秒を超えないインターバルを認める。選手は競技区域を離れてはいけない。また、指示・助言は２人までできる。これはエンドを代えた後に行い、主審が２０秒とコールをしたらコートから離れるものとする。

②各ゲーム、どちらかが１１点に達した時、６０秒を超えないインターバルを認める。

⑵ 同一校が連続して試合を行なう場合には、前試合終了後１５分間の間隔をおいてから次の試合を行なう。

⑶ 原則として複１から順に１試合ずつ行なう。ただし、試合進行が遅れている場合には、複１と単１・単１と複２を並行して行なう場合もある。

⑷ 練習時間は、当日初めての試合前に各校３分間行う。

14．連絡事項　⑴ 競技時の服装は、相手又は観客に不快な感じを与えないようなウェアー・シューズを着用すること。色付きの着衣を使用する場合及びシューズは、（公財）日本バドミントン協会の

審査合格品とする。ただし、(公財)全国高等学校体育連盟バドミントン専門部創立７０周年記念Ｔシャツの着用を認める。

⑵ ①出場選手は、上衣の背中中央に必ず高等学校名及び都道府県名を日本文字で明記すること。その際、文字の色は上衣に鮮明に映えるものとする。文字が判別しにくいものにはゼッケンを使用してもらう場合がある。

「上段・・学校名（やや大きく）、下段・・都道府県名」

②ゼッケンを使用する場合は、白の布地で縦１５ｃｍ・横３０ｃｍの大きさを基準とする。（ゼッケンの場合の文字の色は、黒色又は濃紺色とする。）

⑶ 敗者審判制で行なう。

⑷ マッチ中、選手の水分補給を認めるが、必ず主審の許可を得ること。ただし、ベンチでの水分補給は認めない。（クーラーボックスのベンチ持ち込みは禁止）容器は倒れてもこぼれない容器を使用し、主審横の指定した入れ物に入れること。

⑸ 今大会での男女１～８位校は埼玉県で行われる、関東高校バドミントン選手権大会県予選会に出場できる。

⑹ 当該校引率責任者は、開会式開始までに受付（本部席）のこと。

⑺ 当該校引率責任者は、開会式に参列すること。

⑻ 開会式に参加する選手の服装は、ユニフォーム又は競技時のものとする。

15. 連絡先　　埼玉県立川越西高等学校　坂井　克好

〒３５０－１１７５　埼玉県川越市笠幡２４８８－１

TEL 049-231-2411　　FAX　049-239-1016